

なつ しょくぶつ 夏の植物

❀ ナンテン

か しょうりよくていぼく がつ がつ
メギ科の常緑低木、5月～7月

にかけて花が咲きます。

「難を転じる」に通じることから

縁起が良いとされ、ナンテンの実

正月飾りとしても用いられます。

花はあまり知られていませんが、

このように白い小さな花をたくさん

咲かせます。



← ナンテンの実

(見頃は12月～1月)

❀ クチナシ



アカネ科の常緑低木。6～7月に白い花を

咲かせます。肉厚な花と強い芳香に特徴

があり、ガーデニングに好まれます。

クチナシの名前の由来は諸説ありますが

が、果実が熟れても割れないことから

「口無し」になったという説が一般的

です。また、クチナシは着色料としても

用いられ、赤・黄・青と幅広く使用されて

います。

❀ アジサイ

ユキノシタ科の落葉低木で6月～7月に見頃を

迎えます。武家屋敷で咲くのは「ガクアジサイ」

という品種です。花のように見える部分は

「ガク」(装飾花)です。中央にある花が額縁で

飾られているように見えるため、この名前が付けました。



❀ ネムノキ

マメ科の落葉高木。6～7月にかけて糸状の花が咲き

ます。ネムノキは夜になると葉が合わさり、閉じて

しまいます。この様子が眠っているように見える

ため、この名が付けました。ネムノキとは似た

植物に「オジギソウ」があります。こちらは葉に

触れると閉じてしまうため、このように呼ばれています。



❀ ムクゲ

アオイ科の落葉低木、花期は一般的に6～10月

までといわれていますが、武家屋敷では7月

が見頃です。松尾芭蕉、小林一茶の

句にも詠まれており、秋の季語と

してもたびたび詩歌に登場します。



❀ アサガオ

か いちねんせいしよくぶつ がつ き
ヒルガオ科の一年性植物で7～8月に咲きます。

そうちょう ひるまえ はな とくちょう あさ びじん
早朝に咲き、昼前にしぼむ花の特徴を「朝の美人」

なまえ ゆらい え どじだい
とたとえたのが名前の由来です。江戸時代

かすおお ひんしゆかいりょう げんざい
には数多く品種改良され、現在でも

しょうがっこう かだいもち
小学校の課題に用いられるなど、

にほんじん なじ ふか はな
日本人に馴染み深い花です。



❀ サルスベリ

か らくようちゅうこうぼく
ミソハギ科の落葉中高木。

がつ はな みころ じゅひ
7～9月が花の見頃です。樹皮が

む きのぼ
剥けやすく、すべすべしており、木登りの

じょうず さる すべ さるすべり ひょうき
上手な猿も滑ることから「猿滑」とも表記

いっばんてき ひょうき さるすべり
されます。一般的に表記される「百日紅」は

ちようきかん はな さ つつ
長期間にわたって花が咲き続けることから

な き
その名が来ています。

